

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年3月31日

事業所名 NPO法人はびりす 保護者等数(児童数) 70 回収数 57 割合 81 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえぬ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	56		1		思い切り身体を動かして家庭ではできない動きで子どもも楽しんでいる。目的に応じて部屋が分かれているため活動しやすい。	これからも子どもが伸び伸びと活動できるよう配慮していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	54		1		・専門性が高く納得のいくアドバイスがもらえる。 ・1体1対応でとてもいい。 ・誰がどの専門なのか分からない。	スタッフ表などをつくりわかりやすくしていきたいと思えます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	51		3	1	2 バリアフリーで清潔だが、トイレが大人向けしかないので、子供のお尻が挟まってしまう。	子供用便座などを用意し、誰でも使いやすい空間にします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	51		5	1	・道具屋おもちゃをよく触っているが消毒されているかわからない。 ・ゴミが一つも落ちていないので裸足でも安心できる。	・消毒など定期的に掃除したことがわかるように掲示します。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	53		3	0	1 よくヒアリングしてもらえます。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	50		3	0	3 支援内容は適切だと思います。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	52		3		2 度々目標についてきいてもらえるので改めて考える機会になります。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	49		6	1	2 毎回、様々な道具・工夫で多様な刺激を体感できていると思う。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20		5	11	19 ・なくてもいいと思っている。 ・コロナ禍でなければあるのかわからない。	
保 護	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	52		5		2	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	54		1	0	1	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	44		7	1	4	療育時間内で相談や家での取り組みのアドバイスがある。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	54		3			毎回伺うので直接こどもの発達や生活についてもお話しし、共有できている。

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	52	4	1	1	子どもへの声の掛け方、アドバイスを毎回もらえる。相談に対してとてもわかりやすく説明してもらえる。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	10	10	21	・コロナ禍での開催は難しいと思われるが、開催されれば是非参加したい。 ・色々な方と交流を持ちたい。 ・なくていいと思う。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	48	5	0	5	丁寧に素早く対応してくれます。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	48	4			LINEがとても便利だった。	LINEやSNSをはじめ活動がわかるようにお伝えしていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	30	11		11	・LINEの連絡方法がとても便利 ・会報を出してもらえるといい。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	40	3		9		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	22	9	0	21		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	8	5	28		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	53	1			終わった後満足した表情親子共に楽しみにしている。	
	23	事業所の支援に満足しているか	50	1			自宅で何をしたらいいかもアドバイスしてもらえるので、とても助かっています。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和4年3月31日

事業所名 NPO法人はびりす

保護者等数(児童数) 71 回収数 50 割合 70 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	49	1			・専門的な器具からアグレッシブに活動するものまで揃っていて幅広い活動ができ素晴らしい。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	45	4	0	0	十分適正です。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	44	5	1	1	待合室が車椅子には狭い。他のお子さんの邪魔になっているようで申し訳なく感じます。	コロナ禍でもあり、待機せずに入れるよう配慮していきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ⅰが作成されているか	45	2	0	3	子どもに合わせた取組や今後の成長の期待など考慮いただき作成してもらっています。	
	5 活動プログラム※ⅱが固定化しないよう工夫されているか	41	5	0	2	できるようになったこと、継続して伸ばすことなど成長につながっています。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	13	13	11	17	同じ時間帯の親さんともフレンドリーな雰囲気です。	
保護者 への 説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	48	2	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	46	3	1	0	・先生と話す時間がほとんどなかった。 ・担当者から積極的に話をしてもらえ心強い。	スタッフ人員を増やしたり話ができる時間をつくっていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	45	1	2	1	・もう少し話す時間がほしい。	定期的にききとりを行う時間を増やしていきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	11	12	23	・交流の機会があるといい。 ・コロナ禍で仕方ない。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	20	6	0	23	・苦情をいったことがない。 ・LINEを活用し積極的な対応がなされている。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	44	2	0	3	丁寧な返答していただける	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28	3	2	16	コロナ禍で休みの際もzoomにて対応していただけとてもよかった。	
14 個人情報に十分注意しているか	40	4	0	7	情報漏洩のないよう対応ください		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	27	8	3	12		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	7	6	23		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	49	0	0	1	毎週楽しみで仕方ない。	
	18 事業所の支援に満足しているか	49	1	0	0	担当によって細かく説明してもらえる先生とそうでない先生とでわかれる。	

※ⅰ 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ⅱ 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

児童発達支援/放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月31日

事業所名 NPQ法人はびりす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	1	ダイナミックな活動もできるよう整備しています。	
	2	職員の配置数は適切である	8	4	人員基準を超えた療法士、保育士・児童指導員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	12		できる限り配慮していますが、難しい場合は直接介入し、お手伝いさせていただきます。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	4		担当者だけでなく、他の職員とも目標設定や振り返りができる時間を設けていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	5		実施回数を増やし、質の改善につとめる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	2	今後も研修を定期的に行っていきます。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	2	定期的に検査など専門的な視点から子どもやご家族の状態を把握し、計画に反映しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	2		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	2	個別支援のため、毎日お子さんの状態や状況に応じて工夫しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	2	1対1の個別支援であるが、お子さんのペアによっては合同に行ったりして、子ども同士や保護者同士の相互関係の構築へも取り組んでいます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		細かく打ち合わせできない時も多いため、支援内容を打ち合わせる時間をつくり内容を深めていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	2		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	5		他の職員誰が見てもわかる記録の
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	3	客観的に数値化できるようにし、定期的にモニタリングや目標に対しての進捗状況を把握しています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	4			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	2	常に担当が参加しています。		

関係機関 や保護者との 連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	2		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	2	園の保育士さんがいつでもきて直接相談できるよう整備しています。	保育園や学校にもお子さんの様子を見に行けるよう整備していきたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	3	必要に応じてサマリーを作成し連携を図っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	3	自ら研修や講演会を開催し、地域療育の向上に努めています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	3	ワークショップや自費事業をはじめ関わる機会を設けている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9	3		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	4	保護者にも一緒に療育に参加していただいている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	3	書籍や体操メニューを作成し、自宅での習慣化を実施	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	2	契約時に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	1	毎回直接お会いし、随時行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	4	保護者会は開催していないが、同時刻の保護者同士の連携が深まっている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	1	責任者が即座に対応し迅速に対応できるよう配置しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	3		
	35	個人情報に十分注意している	6	6	定期的に研修会を行い取り扱いに注意を払っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	2		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	5	カフェをオープンし、地域の方誰でも利用できる場所として展開している。	
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	3		マニュアルは整備しているが保護者一人一人に周知していない。わかりやすくまとめて掲示していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	2	定期的に行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	1	敵機的に職員研修を開催している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	12	身体拘束を行うことがない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	食事を提供していない。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2		閲覧できていない職員もいるため、閲覧できる仕組みをつくっていきます。